

# 常総市 地域の危険度マップ

地域の危険度マップは、大字を単位とした地域ごとに建物の構造や建築した年代を集計し、住宅の倒壊率をもとに地域の危険性を評価したものです。

良く揺れる地域であったり、古い木造住宅が多い地域は、

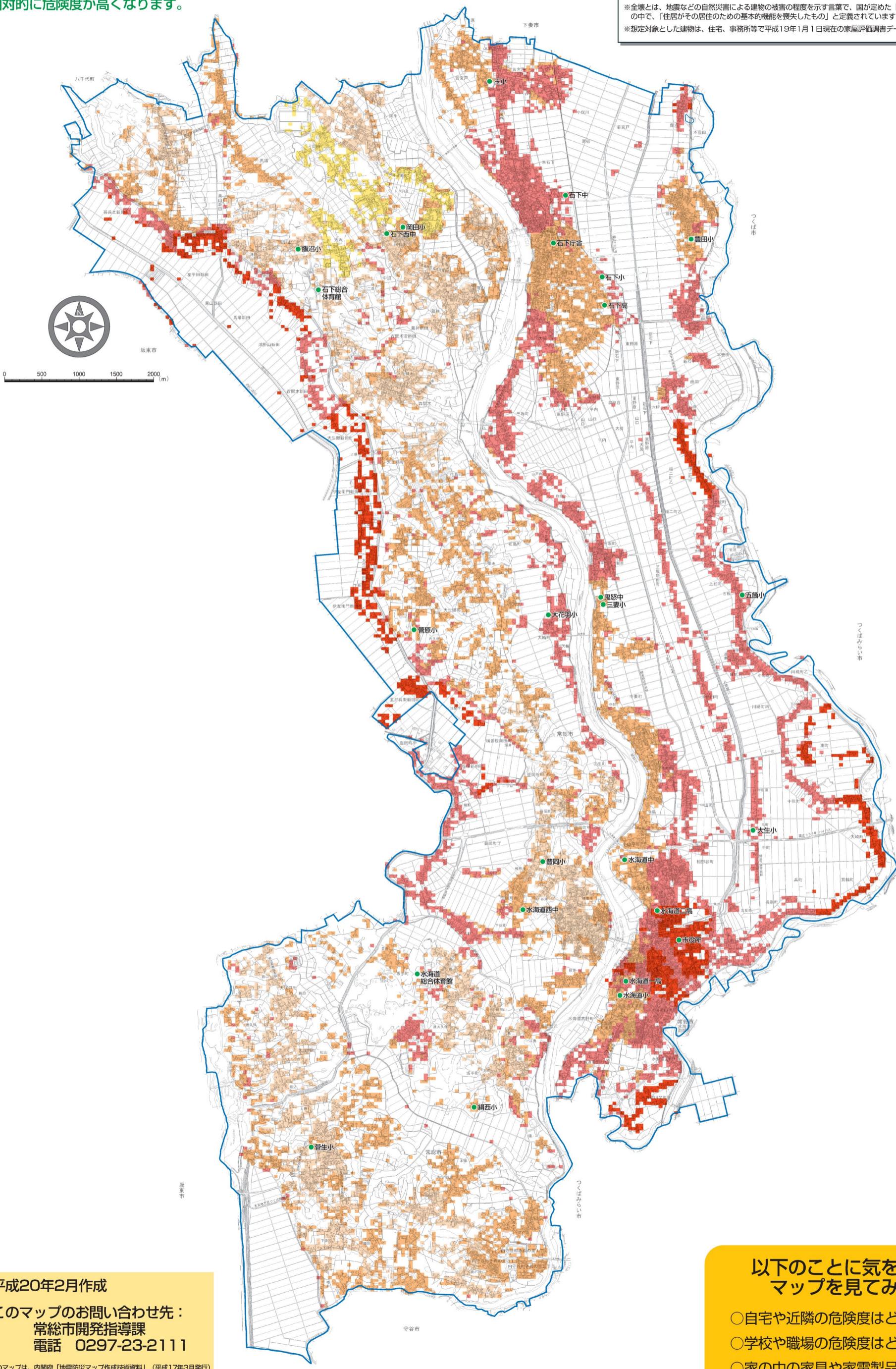
相対的に危険度が高くなります。

## ●地域の危険度マップ凡例

危険度	危険度7	危険度6	危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
地域内の建物の中で全壊する建物の割合	30%~	20~30%	10~20%	7~10%	5~7%	3~5%	0~3%

※全壊とは、地震などの自然災害による建物の被害の程度を示す言葉で、国が定めた「災害の被害認定基準」（平成13年6月）の中で、「住居がその居住のための基本的機能を喪失したもの」と定義されています。

※想定対象とした建物は、住宅、事務所等で平成19年1月1日現在の家屋評価調査データをもとにしています。



平成20年2月作成

このマップのお問い合わせ先：  
常総市開発指導課  
電話 0297-23-2111

このマップは、内閣府「地震防災マップ作成技術資料」（平成17年3月発行）  
で示されている方法に従って作成しました。

背景図には「常総市地形図（平成20年作成）」を使用しています。

以下のことに気をつけながら  
マップを見てみましょう

- 自宅や近隣の危険度はどのくらい？
- 学校や職場の危険度はどのくらい？
- 家の中の家具や家電製品は倒れてこない？